

新版

夢の肉弾三勇士

原作・演出
流山児祥
脚本
鹿目由紀

2026年3月12日(木)ー3月23日(月)
Space早稲田

流山児★事務所
流山児★事務所 2026年春公演

新版
夢の肉弾三勇士



「いま」という名の暗闇の真っ只中。戦争は、しれっと開始している。

そんな中、とある「少女歌劇団」が、プロパガンダ歌劇の稽古に励んでいた。ところが歌をうたっている最中、突然、100年前の「ナチス・ドイツ」にタイムスリップしてしまう。一方、関東大震災で兄を殺された朝鮮人の妹・アンジェリータは時空を超えて、上海事変の「肉弾三勇士」に遭遇する。兄を求めてアンジェリータは旅をする、戦後の焼け跡、震災、戦争、「おまえが毒を入れた」と言われた井戸の中……。

そこに流れる《歴史の海》は広く時空を越え、次第に繋がりを見せ始める。そこで少女歌劇団が見たものは? アンジェリータが見たものは?

あちこち飛び交う流言飛語(りゅうげんひご)の翼は撃ち落とされるのか。流山児祥が1971年、20代で記した戯曲の足跡、その爪先だけを残して「新しく」生まれ変わった物語。およそ三世代を股にかけてお送りする、奪われ続けた「100年」の物語。

2026年の『新版 夢の肉弾三勇士』、とくと、ご覧あれ。



『夢の肉弾三勇士』について

流山児★事務所の前身=「演劇団」 初期の代表作です。

1971年 ユニークバレエシアター、早稲田小劇場、浅草木馬館、ほか4大学で上演
12月『続・夢の肉弾三勇士～あめ・あられ・へんげん～』を六本木自由劇場で上演
1972年 5月『新版 夢の肉弾三勇士』を浅草木馬館、早稲田小劇場で上演
9月『夢の肉弾三勇士・流浪篇』として浜松、名古屋、京都、神戸、大阪を巡演
10月『夢の肉弾三勇士・決定版』として浅草木馬館で上演
2005年 脚色:高取英 構成・演出:天野天街で33年ぶりの上演をSpace早稲田にて行う
2022年 名古屋の七ツ寺共同スタジオの50周年記念公演として、柿落とし公演で上演した
本作品が取り上げられ、脚色:鹿目由紀、演出:渡部剛己で上演

◀1971年



Space早稲田 Tel.03-5272-1785(会期中のみ)

開演	12㊱	13㊱	14㊱	15㊱	16㊱	17㊱	18㊱	19㊱	20㊱	21㊱	22㊱	23㊱
屋の回	14時		●				●		●	●		
	15時	●		●					●		●	
夜の回	19時	割引		割引		●	●	●		●		

◎料金 [日時指定・自由席] ※税込、当日精算(現金のみ)

一般	割引回	はじめて割引	U25、学生、養成生	高校生以下	RYUS会員
4,500円	4,000円	4,000円 各ステージ限定5枚	3,000円 要身分証明書	1,000円 要身分証明書	3,600円



東京都新宿区
早稲田町74番地
ピューロー早稲田B1
交通:
東京メトロ東西線
「早稲田駅」①番出口より徒歩1分

アフタートーク開催! 詳細はHPにて発表 /

◎お問合せ・ご予約

流山児★事務所 <https://www.ryuzanji.com/>

E-mail mail@ryuzanji.com Tel. 03-5272-1785(平日13:00-17:00)



CoRichチケット! <https://ticket.corich.jp/apply/414773/>

予約開始★2026年1月13日[火]10時

